

富山地区学校再編に関わる保護者説明会・地区説明会の意見等について

I. 開催概要

会議名	開催日	会場	参加者数	
			保護者・市民	検討委員
保護者説明会	令和5年12月21日(木)	富山中学校体育館	56名	17名
地区説明会	令和6年1月25日(木)	富山中学校体育館	12名	16名

II. 保護者説明会での意見・質問

1 教育的な観点から、どのくらいの人数で再編するのが良いのか。違いなどはあるのか。

(回答) 何人が一番効果的という研究はされておられません。人数が多くても、多いがゆえのいろいろな問題が出てきます。市では、学年単学級となることはできるだけ解消したい(2学級以上が望ましい)という想いを持っています。

2 資料2を見ると、令和11年度には1年生が40人になるとなっている。2年、3年後にはまた統合の話を進めなければならないように思えるが、後手後手なように感じられ、もう少し先を見た統合は考えられないのか。

(回答) 富山中学校と富浦中学校の統合を考えたのは、生徒が時間等の負担が少なく通学できると想定したためです。現実にはそういう人数になった際、人数を優先するのか、通学の負担を優先するのかを勘案しながら考える時期が来ると思っています。

3 もう一度考える時期が来るという回答だったが、今回やるのが最終ではなく、もう一回どこかでやらなければいけない時期が来ると聞こえた。実際にどうなのか。

(回答) 統合を選ぶのか、少人数の学校でやっていくのか判断をする時期が来ると思っています。これからの協議の中で、「現在の規模のままこれからも富山中学校の教育を求めて行こう」という結論が出れば、それを受け止めていきますが、それほど生徒に負担をかけず統合する見通しがあるので、検討をしていただきたいと思っています。

4 統合になると、中学に上がる際、今までと違う子ども達と接することになります。そういった子ども達の気持ちの面での負担というのは汲んでいただくことは可能か。

(回答) 白浜小学校と千倉小学校では令和5年度に入ってから、両校が交代で訪れたり、一緒に活動したり、関係を深めています。和田中学校と丸山中学校が統合した際、四つの小学校がありましたが、これについても同様に交流し、新しい中学校生活を迎えています。富山中学校と富浦中学校が統合した場合も、小学校の段階から交流を重ねていく考えでいます。

5 統合に賛成の考えではあるが、場所が決まっていないと理解しました。この地域で子ども達に学校に行ってほしいという想いがあります。既存の建物のどちらかにするのか、新たに建てるのか話が出ているのか。

(回答) 両地区で統合するという方向性が出た後、合同会議を開き、通学の時間、その他のいろいろな条件を検討しながら提案していきます。

6 どういうスケジュール感で統合を目指しているのか、今の時点で何かありますか。

(回答) 決して急ぐつもりは無く、丁寧に議論していただきたいと思っていますが、これまでの経験から協議に2年間はかかり、その後、準備にもう1年くらいかかると思っています。そのため、早くても3年くらいかかると思っています。

7 今回こういった説明会がありました。別の機会はあるのか。また、参加されていない方の意見等を聞く機会はあるのか。

(回答) 検討委員会からもう一度説明会をとのお話があれば設けていきます。また、参加されていない方々に対しては、検討委員会と相談し、資料を配布する等を行っていきます。

8 市内に限らず、組合立、例えば鋸南や館山との統合は考えられないのか。

(回答) 想定はしてきたが、近隣の教育にかかる経費を考えると、現在市が教育にかけている経費を同じように出してもらうことは難しいと思います。そのため、組合立という学校を作っていくのは難しいと判断しています。

9 質問先が違うかと思いますが、都市部に行きますと、中高一貫校があります。安房郡市全体で、県立の中高一貫校を作っていく考えはないのか。

(回答) 千葉市や東葛飾には県立の中高一貫校があるため、南の方にもと要望はしていますが、生徒数が少なくなっている中、なかなか前向きに考えてもらえない状況です。ですが、中高一貫校にはなりません、小中学校の教育の考え方も十分踏まえて高校の指導にあたって欲しいと協議をしています。

Ⅲ. 地区説明会での意見・質問

1 富浦中学校と富山中学校の統合に反対の立場で発言します。小中学校の統廃合が何のために、誰のために行われてきたのか。文科省、総務省の方針に基づくものであり、行政の都合によるものであって、決して子どものためではないのではないかというふうに思っています。そこで、次の三つのことを要望します。

①令和5年4月1日から施行された子ども基本法によって、子どもの意見表明権が認められております。そこで今回の統合問題について、当事者である富浦中学校、富山中学校の生徒全員を対象にアンケートを行うことを要望します。生徒の過半数が統合に賛成しないのであれば、統合すべきではないというふうに思います。

②アンケートを行った後、再度、住民説明会を開催することを要望します。

③学校の統廃合は地元住民にとって重大な問題です。時間をかけて慎重に検討し、子どもと住民の合意を得て進めることを要望します。

(回答) 平群小学校と岩井小学校の統合を行った際、文科省、総務省の方針に基づいて進めたわけではなく、子ども達の将来、学校生活を考えて地区の皆様方が真摯に議論して、両小学校の統合が決定されたということは御理解いただきたいと思います。子どもの意見をとりましたが、これまでは大人の責任で子ども達の教育環境を考えようということやってきています。今いただいた御意見は、検討委員会で議論されるものと思っています。その他、お聞きした内容についても、検討委員会で検討・議論することになると思います。

2 子ども基本法は令和5年4月1日から施行されたものです。状況が変わっているかと思いますが、関係性はどのように考えますか。

(回答) 検討委員会で検討・議論していきます。

- 3
- ・参加者の方に机が無く、資料が見にくいので机が欲しかったです。
 - ・会議資料ですが、富浦の地区説明会と同じなのですか。
 - ・学校が無くなるとその地域から住む人がいなくなる。こういうのはどこを見てもそう感じるので、学校が無くなることについて、もっと考えてもらいたいです。
 - ・子どもの通学にかかる負担を考えていないと思います。スクールバスを考えるかと思いますが、決められた時間にそこに行って乗らなくてははいけない。そういう制約をされることになる。昭和33年か34年頃、丸山の大井地区と丸地区の統合問題というのを体験しており、とても負担で苦労しました。
 - ・子どもの意見を一人一人聞いてもらいたいです。大人が責任を持つというのはありますが、子どもの権利というのもあります。子どもの意見をしっかり聞き取ってもらいたいです。
 - ・統合すると教員が多くなると言いますが、違うと思います。一つの学校でいろいろな教科担当の教員や校長先生等がいます。二つ合わされば多いと思います。
 - ・子ども達が大人数でやる切磋琢磨だけではなく、しっかりと先生が一人一人を見られる丁寧な指導を考えて、統合しなくても良いのではと思います。

(回答)机に関しては、大変配慮に欠けて申し訳ありませんでした。資料については、質問と答えが富浦地区と違いますので、資料4については違いますが、その他については同じです。平群小学校と岩井小学校の統合の際も、地区の皆様方はかなりの期間議論してきました。スクールバス等についても、地区の皆様は子どもを通していろいろな知見を持っていますので、そういうものを踏まえて、再編について御議論いただいて、方向性を出していくと考えております。いろいろ御意見いただきましたことは、それらを踏まえて検討委員会で議論していくことになると思います。

- 4
- もっと質問が出ていたのですか。数が少ないのですが、こんな感じだったのですか。

(回答)保護者対象の説明会では、ここに記載したものがほとんどであり、特にここに記載しなかったものはありません。

- 5
- 男の方のみが質問したのですか。絵がみんな男の人なので、ジェンダーと言われている中、男の人上位みたいなことを感じますのでお願いします。

(回答)たまたま同じカットを使っているだけで、女性からの質問もあったと思います。大変申し訳ありません。女性からの質問はありませんでした。

- 6
- 次の説明会はいつぐらいになりますか。

(回答) 検討委員会が最終的に判断しますが、方向性等がいつ出るかによって違ってくると思います。あるいは、再度皆様方の御意見を求めるとなればそのようになります。

7 再編するわけではなく、考え中なのですか。位置が富浦になるのか、富山になるのかは分からないのですか。

(回答) 教育委員会としては、両地区の再編という方向で議論していただいておりますが、結論については、両地区の検討委員会で協議した中で決まってくると思っています。その後、学校の位置等については、改めて提案することと考えています。

8 南房総市になった当時、人口が4万6千くらいいたと思いますが、今現在、3万4千くらいになり、そういう中での教育だと思っています。今まで統合してきて、メリット・デメリットもあるかと思いますが、子ども達をどういう状況で学ばせてあげれば一番良いのかということだと思います。ですが、この地区に愛着を持ってもらいたいとも思いますし、何でもかんでも統合ってということではないと思います。能登半島地震で学校がすぐ避難所になり、子ども達が授業する場がなくなった。学校ってどうあるべきか私にもよく分からないのです。自分達がやってきた経験が全て、現状壊れてきています。そういう中、子ども達が安心してちゃんと教育を受けられ、将来に極力負担の無いようにするというのが大人の責任だと思います。ただ、今までみたいに1+1が2だろうという答えだけではないというところは、これから考えていかななくてはいけないと思います。

(回答) 子ども達に一番良い教育環境ということで、この地区では平群小学校と岩井小学校の統合という道を選んでいただきました。統合することによって、今まで駆けっこで誰が一番になるか分かっていたが、それが大勢になったことで本気になってやるようになった。また、修学旅行も大勢で行けるようになって子ども達も喜んでいたという話が聞こえてきました。地区の皆様は、子ども達が活発に活動していることについて、納得されているのではないかと考えています。今日いただいた御意見、想いを踏まえて、検討委員の皆様と議論を進めていっていただきたいと思っています。

(委員) 統合する、しないの話はまだ何も進んでいません。私は岩井小学校卒業で、小学校のときは岩井の子達としか関わっていませんでしたが、富山中学校になったことによって平群の子達と関わるようになりました。小中の友達は今でも関わりがあります。親の立場としては、子ども達がより良い環境で学んでいければどちらでも構いません。ただ、先生との相性は子どもながらにあり、例えば数学の先生が一

人しかいなく、相性が悪ければ分からないままになります。子どもの逃げ道としては、他に教育者が居れば、そこに頼ることもできるのかなど。個人的に小中に感じたことが多々あったので、人が多いということに関しては、良かったのかなと思います。